

# 第25期 岡山県産業教育審議会

## 第1回会議 資料

### 1 最近の職業教育等に関する国の動向

#### ◎ 中央教育審議会答申（平成20年1月）

「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善  
について〔抜粋〕＜専門教育に関する各教科・科目に関して＞」 . . . 1

### 2 岡山県の職業教育等の現状

- (1) 職業に関する学科配置状況（平成22年度） . . . 3
- (2) 岡山県の高等学校卒業者の進路状況 . . . 6
- (3) 岡山県の専門高校の特色ある取組
  - ① 文部科学省「目指せスペシャリスト（スーパー専門高校）」事業
    - [1] 倉敷工業高等学校，[2] 玉野商業高等学校の取組 . . . 9
    - ② ”飛び出せ！専門高校生”地域実践サポート事業（平成21年度） . . . 12
  - (4) 資格取得状況（平成20年度） . . . 13
  - (5) 職場体験・インターンシップ等実施状況 . . . 14

### 3 県内の高等学校卒業者の就職状況

- (1) 「平成22年3月新規学校卒業者の就職内定状況（10月末現在）」 . . . 15
- (2) 新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移 . . . 19

# 1 最近の職業教育等に関する国の動向

## (1) 中央教育審議会答申（平成20年1月）

### 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」

#### < 専門教育に関する各教科・科目に関して >

##### (ア) 職業に関する各教科・科目

##### (i) 改善の基本方針

- これまで、幅広い分野で産業・社会を支える人材を輩出してきた専門高校は、今後も経済社会の様々な情勢の変化に対応し、職業人として必要とされる力を身に付けた人材を育成するとともに、地域や産業社会の発展に貢献するために、引き続き重要な役割を果たすことが求められている。
- このため、専門高校における職業に関する各教科・科目については、その課題や改正教育基本法等で示された職業にかかわる規定等を踏まえ、将来のスペシャリストの育成という観点から専門分野の基礎的・基本的な知識、技術及び技能を身に付けるための教育とともに、社会に生き、社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観等を醸成し、豊かな人間性の涵養等にも配慮した教育を行うことが重要である。
- また、産業構造の変化、科学技術の進歩等の情勢の変化に対応し、それぞれの専門分野で真に必要とされる教育内容に精選するとともに、新たに求められる教育内容・方法を取り入れることが重要である。
- さらに、専門高校における職業教育の充実のためには、小学校・中学校段階におけるキャリア教育や進路指導との接続、専門高校生に産業社会や大学等が求める能力・資質との関連、社会や大学等の専門高校生への積極的評価、次代を担う人材の育成という観点から、関係各界・各機関等との連携強化なども重要な視点である。このような基本的考え方の下、各教科について科目の構成及び内容の改善を図る。

##### (ii) 改善の具体的事項

##### (教科横断的な事項)

- 次の三つの視点を基本とし、各教科を通して以下の横断的な改善を図る。
- 第一は、将来のスペシャリストの育成に必要な専門性の基礎・基本を一層重視し、専門分野に関する基礎的・基本的な知識、技術及び技能の定着を図るとともに、ものづくりなどの体験的学習を通して実践力を育成する。  
さらに、資格取得や有用な各種検定、競技会への挑戦等、目標をもった意欲的な学習を通して、知識、技術及び技能の定着、実践力の深化を図るとともに、課題を探究し解決する力、自ら考え行動し、適応していく力、コミュニケーション能力、協調性、学ぶ意欲、働く意欲、チャレンジ精神などの積極性・創造性等を

育成する。

- 第二は、将来の地域産業を担う人材の育成という観点から、地域産業や地域社会との連携・交流を通じた実践的教育、外部人材を活用した授業等を充実させ、実践力、コミュニケーション能力、社会への適応能力等の育成を図るとともに、地域産業や地域社会への理解と貢献の意識を深めさせる。
- 第三は、人間性豊かな職業人の育成という観点から、人と接し、自然やものとかかわり、命を守り育てるという職業教育の特長を生かし、職業人として必要な人間性を養うとともに、生命・自然・ものを大切に作る心、規範意識、倫理観等を育成する。
- また、上記を踏まえた改善に当たり、産業構造の変化、技術の進捗等に柔軟に対応できる人材の育成のため、専門分野に関する基礎的・基本的な知識、技術等の定着を特に重視するとともに、就業体験等、実社会や職業とのかかわりを通じて、高い職業意識・職業観と規範意識、コミュニケーション能力等に根ざした実践力を高めることを一層重視し、例えば、職業の現場における長期間の実習を取り入れるなどにより、教育活動を充実すべきである。
- 上記の他、生徒の意識の変化や進路の多様化等に対応するため、弾力的な教育課程を編成することに加えて、より実践的な職業教育や就業体験等を通じて、職業選択能力や人生設計能力を身に付けさせる教育が可能となるよう配慮することも必要である。

## 2 岡山県の職業教育等の現状

### (1) 職業に関する学科配置状況（平成22年度）

#### 農業に関する学科

新時代の食・農・自然環境などを担う後継者を育てます。  
植物や動物の栽培・飼育をとおして自然のしくみを学習し、自然の大切さを学びます。  
情報化に対応したコンピュータ、バイオテクノロジーなど新技術を学びながら、これからの農業について考えます。

#### 公立高校

高松農業高校	農業科学科 園芸科学科 畜産科学科 農業土木科 食品科学科
興陽高校	農業科 農業機械科 造園デザイン科
瀬戸南高校	生物生産科 園芸科学科

井原高校	園芸科
新見高校	生物生産科
久世高校	生物生産科 食品科学科
勝間田高校	グリーン環境科 食品科学科 産業工学科
弓削高校	環境技術科 (H22募集停止)

※新見高校は単位制。

#### 工業に関する学科

産業社会の技術革新に対応したエンジニアを育成します。  
機械、電子機械、電気、情報、建築、土木、化学、デザインなどに関する学科があり、「ものづくり」をとおして工業の専門的な知識・技術を学習します。

#### 公立高校

岡山工業高校	機械科 電気科 情報技術科 化学工学科 土木科 建築科 デザイン科
東岡山工業高校	機械科 電子機械科 電気科 設備システム科 工業化学科
倉敷工業高校	機械科 電子機械科 電気科 工業化学科 ファッション技術科
水島工業高校	機械科 電気科 情報技術科 工業化学科 建築科

#### (定)は定時制

津山工業高校	機械科 電子機械科 電気科 工業化学科 土木科 建築科 デザイン科 (H22新規募集)
笠岡工業高校	電子機械科 電気情報科 環境土木科
高梁城南高校	電気科 デザイン科
新見高校	工業技術科
弓削高校	環境デザイン科 (H22募集停止)
倉敷市立工業高校	機械科(定) 電気科(定)
玉野市立備南高校	総合技術科(定)

※新見高校は単位制。

私立高校

関西高校	電気科
岡山理科大学附属高校	機械科 電気情報科

おかやま山陽高校	機械科 自動車科
----------	-------------

商業に関する学科

日々変化する経済社会でたくましく生きる人材を育成します。  
販売・サービスに必要なマナー、ビジネスの諸活動にかかわる会計等の分析と活用方法、コンピュータの専門的な知識・技術、外国語による実践的な会話を学習します。

公立高校

西大寺高校	商業科
岡山東商業高校	ビジネス創造科 情報ビジネス科
岡山南高校	商業科 国際経済科 情報処理科
倉敷商業高校	商業科 国際経済科 情報処理科
玉島商業高校	ビジネス情報科

(定)は定時制

津山商業高校	地域ビジネス科 国際ビジネス科 情報ビジネス科
笠岡商業高校	商業科 情報処理科
高梁城南高校	総合情報科
新見高校	総合ビジネス科
勝山高校	商業科
玉野市立玉野商業高校	情報ビジネス科
倉敷市立精思高校	商業科(定)
倉敷市立玉島高校	商業科(定)

※新見高校は単位制。

私立高校

関西高校	商業科
倉敷高校	商業科
倉敷翠松高校	商業科
岡山龍谷高校	情報科
岡山県高梁日新高校	商業科

家庭に関する学科

健全な生活の創造を目指し、衣食住、保育、家庭看護や介護に関する知識や技術を学びます。また、これらに関連した生活産業にかかわる将来のスペシャリストの育成を目指します。

公立高校

興陽高校	家政科 被服デザイン科
瀬戸南高校	生活デザイン科
岡山南高校	生活創造科 服飾デザイン科
倉敷中央高校	家政科

津山東高校	食物調理科
井原高校	家政科
総社高校	家政科
高梁高校	家政科
久世高校	家政科

※高梁高校は単位制。

私立高校

岡山学芸館高校	食物調理科
倉敷翠松高校	服飾科学科

おかやま山陽高校	調理科
岡山龍谷高校	生活科

## 看護に関する学科

人の命と健康にかかわる看護について学び、資格取得を目指します。  
病院での看護実習をとおして、看護の心を育て、最新の医療技術を学びます。  
高校と専攻科をあわせた5年一貫教育が行われています。

### 公立高校

倉敷中央高校	看護科
津山東高校	看護科
落合高校	看護科

※看護科は5年一貫制（専攻科設置）。

### 私立高校

創志学園高校 (H22ベル学園から校名変更)	看護科 衛生看護科（H22募集停止）
倉敷翠松高校	看護科

※看護科は5年一貫制（専攻科設置）。

## 情報に関する学科

コンピュータシステムの設計・管理・運用にかかわる分野やマルチメディアにかかわる分野を中心に、情報に関する知識と技術を学習します。

### 公立高校

玉野光南高校	情報科
--------	-----

※玉野光南高校は単位制。

## 福祉に関する学科

社会福祉に関する専門科目を学習し、福祉への理解を深めるとともに、施設実践などをとおして福祉の専門的・実践的な知識や技術を学びます。

### 公立高校

倉敷中央高校	福祉科
--------	-----

### 私立高校

創志学園高校 (H22ベル学園から校名変更)	総合福祉科 (H22募集停止)
---------------------------	--------------------

## その他の学科

その他に、特色のある専門学科を設置している学校があります。

### 公立高校

高梁城南高校	環境科学科
--------	-------

### 私立高校

岡山県高梁日新高校	ビューティー科
-----------	---------

## 総合学科

普通科目及び専門科目が多数開設されていて、その中から自分の学習希望や進路希望に応じて学びたい科目を選択することができる単位制の学科です。

### 公立高校

岡山御津高校	岡山市立岡山後楽館高校（定）
鴨方高校	倉敷市立倉敷翔南高校（定）
備前緑陽高校	
勝間田高校	

### 私立高校

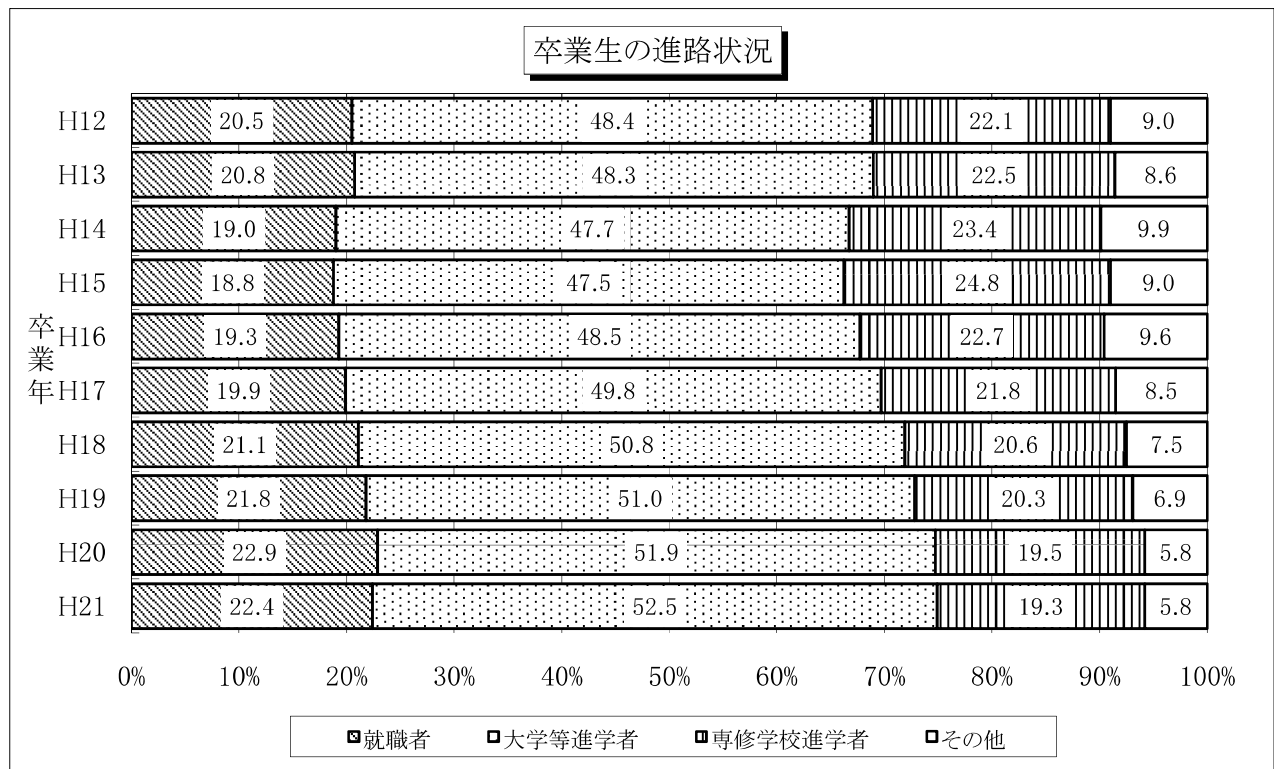
岡山商科大附属高校
-----------

## (2) 岡山県の高등학교卒業者の進路状況

※以下のデータは「平成21年度岡山県学校基本調査結果報告書」（岡山県企画振興部）による。

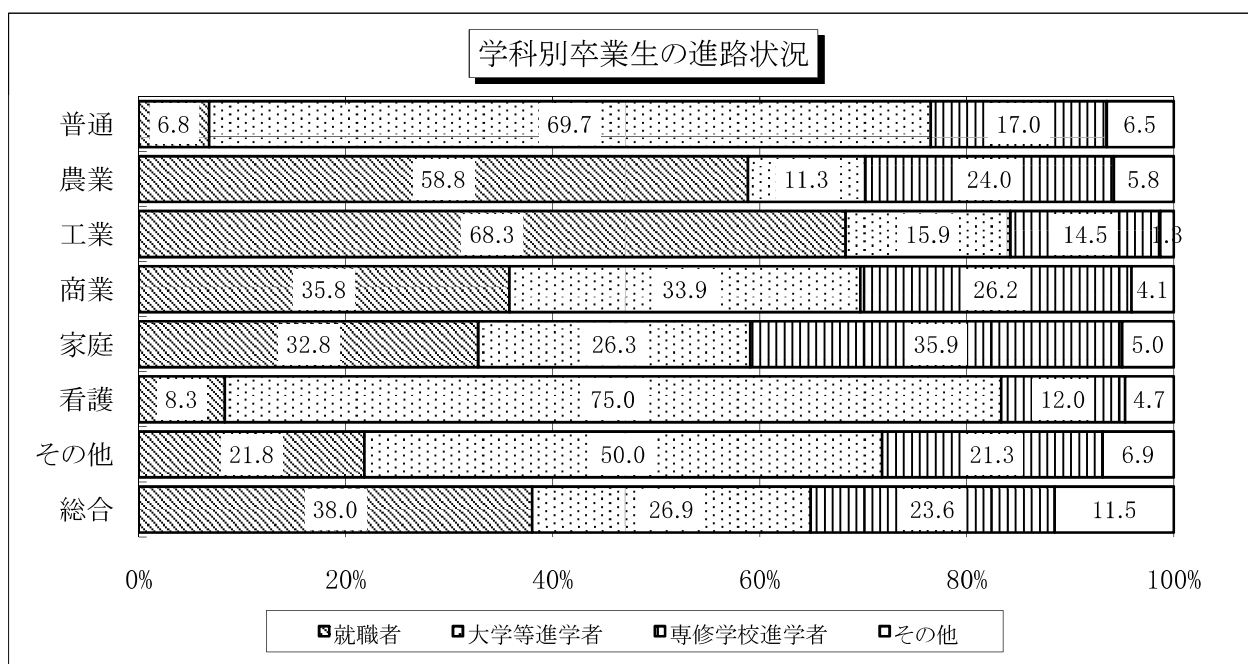
### ① 卒業生の進路状況

卒業年	就職者	大学等進学者	専修学校進学者	その他
H12年3月卒業	20.5	48.4	22.1	9.0
H13年3月卒業	20.8	48.3	22.5	8.6
H14年3月卒業	19.0	47.7	23.4	9.9
H15年3月卒業	18.8	47.5	24.8	9.0
H16年3月卒業	19.3	48.5	22.7	9.6
H17年3月卒業	19.9	49.8	21.8	8.5
H18年3月卒業	21.1	50.8	20.6	7.5
H19年3月卒業	21.8	51.0	20.3	6.9
H20年3月卒業	22.9	51.9	19.5	5.8
H21年3月卒業	22.4	52.5	19.3	5.8



## ② 学科別卒業生の進路状況（H21年3月卒）

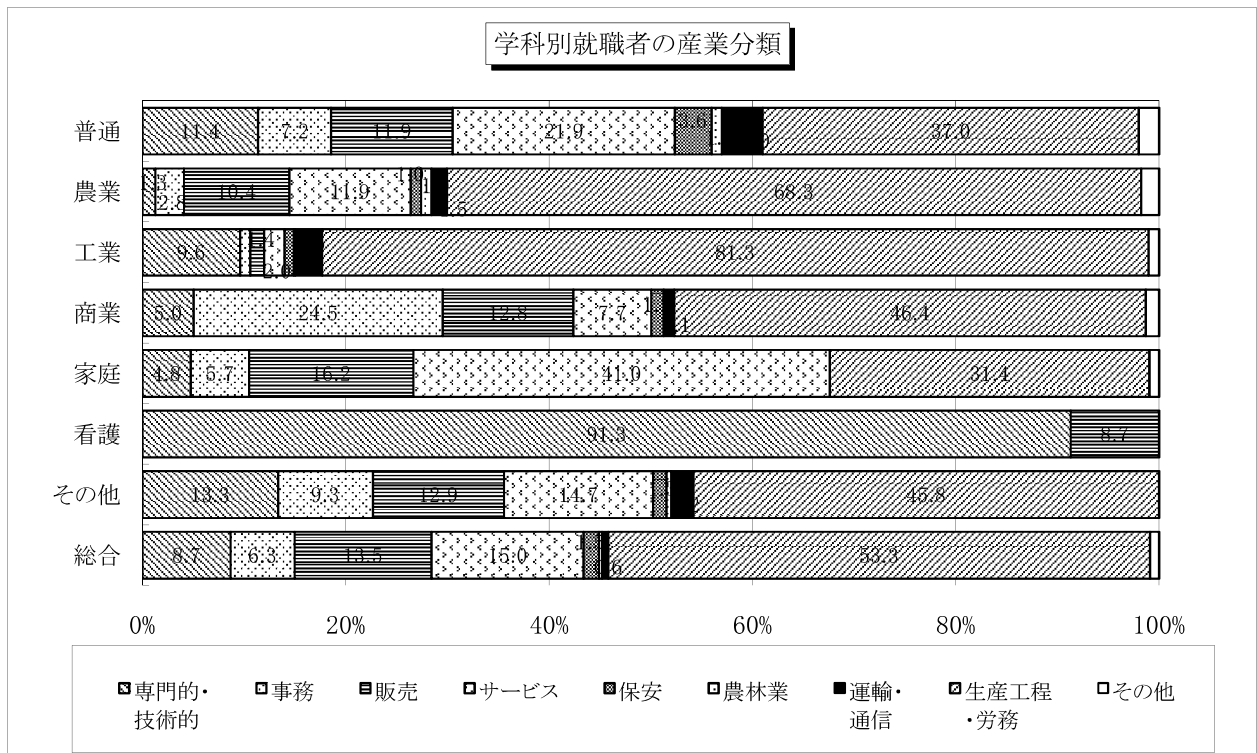
学 科	就職者	大学等進学者	専修学校進学者	その他
普 通	6.8	69.7	17.0	6.5
農 業	58.8	11.3	24.0	5.8
工 業	68.3	15.9	14.5	1.3
商 業	35.8	33.9	26.2	4.1
家 庭	32.8	26.3	35.9	5.0
看 護	8.3	75.0	12.0	4.7
そ の 他	21.8	50.0	21.3	6.9
総 合	38.0	26.9	23.6	11.5





### ③ 学科別就職者の職業別分類（H21年3月卒）

学科名	専門的・技術的	事務	販売	サービス	保安	農林業	運輸・通信	生産工程・労務	その他
普通	11.4	7.2	11.9	21.9	3.6	1.0	4.0	37.0	2.0
農業	1.3	2.8	10.4	11.9	1.0	1.0	1.5	68.3	1.8
工業	9.6	1.0	1.4	2.0	0.9	0.2	2.6	81.3	1.1
商業	5.0	24.5	12.8	7.7	1.2	0.0	1.1	46.4	1.3
家庭	4.8	5.7	16.2	41.0	0.0	0.0	0.0	31.4	1.0
看護	91.3	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13.3	9.3	12.9	14.7	1.3	0.4	2.2	45.8	0.0
総合	8.7	6.3	13.5	15.0	1.5	0.3	0.6	53.3	0.9



### (3) 岡山県の専門高校の特色ある取組

#### ① 文部科学省「目指せスペシャリスト（スーパー専門校）」事業

専門高校において、大学・研究機関等との連携の強化により、将来の地域社会の担い手となる専門的職業人を育成する。



### 実践事例

#### 福島県立会津工業高等学校（工業）

◎ 窯変天目茶碗の製作を通じたスペシャリスト育成への挑戦



油滴天目茶碗の斑点模様（試作品）



釉薬の調合実験

#### 群馬県立勢多農林高等学校（農業）

◎ 地域農業の活性化やアジア農業の発展に貢献できるバイテクスぺシャリストの育成



商品化に成功したサクラソウ



アブラナ科植物の育種（胚培養）

# [1] 目指せスペシャリスト事業成果

岡山県立倉敷工業高等学校

## 1. 研究開発課題

『繊維とファッションのまち倉敷』のさらなる活性化を目指し、地域産業の発展に貢献できるスペシャリストの育成

## 2. 具体的な取り組みと成果

### ①手紡ぎ、手織りショールの製作

老人保健施設で飼育されている羊の毛の刈り取りから製品までの取組

工夫点

- ・草木染めによる染色
- ・電子機械科の協力により、自動手紡ぎ装置を製作（改良中）
- ・電気科の協力により、綿繰機（綿から種子を取り除く装置）を開発中



### ②暖簾の製作

倉敷商工会議所，商店街と連携した取組

工夫点

- ・聞き取り調査の実施
- ・耐候性顔料の使用
- ・電気科の協力により、スクリーン伸張装置（紗張り装置）を製作



### ③オリジナルジーンズの製作

#### 1)オリジナルデザインジーンズの製作

計画書の作成から最終縫製までの全工程，生徒自身によるオリジナルデザインジーンズの製作

#### 2)「倉工オリジナルジーンズ」の製作

工夫点

- ・生地によるオリジナル化
- ・機械科の協力により織機を改良
- ・ジーンズ端材によるバッグやチューリップハット（本校オリジナルロゴマーク入り）の製作



- ・工業化学科の協力により、染色廃液の処理方法を確立

## 3. 販売に向けて

H 2 1 年 4 月

- ・地元児島地区の「児島せんい祭」に展示品として出品
- ・見学者にアンケートの実施（販売に向けての情報収集）

7 月

- ・地元「くらしき朝市 三斎市」で販売
- ・後日，アンケート調査の実施

1 0 月

- ・「児島せんい祭」で倉工オリジナルジーンズを販売
- ・後日，アンケート調査の実施予定



## 4. まとめ

平成19年度から本校主催のものづくり展示会への出品と，羊毛マフラーやのれんの贈呈を行っている。更に20年度には岡山県高校デザイン展への初出品や販売を実施することにより，自分たちの作品が評価される場が増えた。このことは，生徒の変容を測る目的で実施したアンケートの結果，満足度・意欲度ともに自信や達成感が高まっていることがわかった。

生徒達は，外部の期待に応えようとし，デザイン能力，コミュニケーション能力が飛躍的に向上した。同時に，よりよいものを作ろうとする意欲が高まった。

このことが，生徒一人一人の，地域産業の発展に貢献できる自信と自覚を持ったスペシャリストの育成に繋がっている。

今後とも，地域と連携しながら，本研究開発事業で培ったものをもとに，更に継続発展させ，地域産業の発展に貢献できるスペシャリストを育成していきたい。

## [2] 目指せスペシャリスト事業成果

玉野市立玉野商業高等学校

### 1 目指せスペシャリスト事業のねらい

「目指せスペシャリスト」事業の指定を受けて3年間、研究開発課題として、『新学科「ビジネス情報科」の教育課程充実を目標として、「社会人としての基礎力」を向上させ、本校独自の教育プロジェクト「DReL(ドリル)プロジェクト」により、将来社会に貢献しようする人材を育成する』としている。

※「DReL とは、Dynamism(活動)Reflection(再考) Link(協働)」の頭文字をあわせた造語

この研究課題を達成するために、3年間に渡って様々な活動を行った。その活動のまとめとして学校設定科目「地域ビジネス」を設置することとする。

### 2 3年間の事業終了後学校設定科目「地域ビジネス」として継承

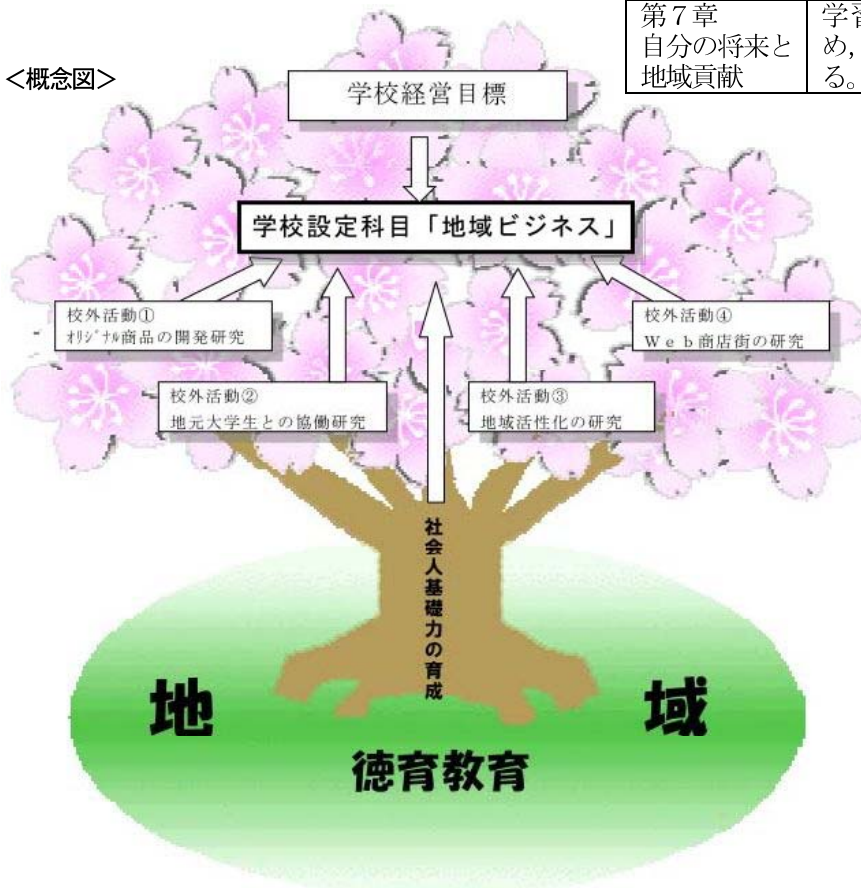
#### ① 学校設定科目「地域ビジネス」の目標

地域に根ざす学校作りを目指すために、地域の現状を知り、地域の強み・弱みを理解した上で、地域に関する調査活動や活性化に関わる取り組みを進めることにより、将来地域社会に貢献できる態度を育てる。

### ② 内容

項目	内 容	プロジェクト
第1章 心の準備	社会に出る前の心構えや、社会人として押さえておきたいマナー・倫理観を講話や実践を通じて身につけさせる。	徳育教育
第2章 地域を知る	地域の特性を理解するために、情報の収集・分析・報告が正しくできる態度と能力を育てる。	地域活性化
第3章 地域を知らせる	地域を他地域の人に正しく理解してもらうために、情報を編集して発表する能力を育てる。	マガジン
第4章 地域活性化の研究	地域調査活動をもとに、地域活性化のための手だてを具体的に考察し、発表する能力を育てる。	協働体験
第5章 商品開発による地域活性化	地元企業と協力をして、商品開発を行い、イベント等で販売をして、実際に地域に貢献する。	商品開発
第6章 地元商店街の活性化	地元商店街の協力を得て、商店の Web ページを作成し、地域に貢献をする。	Web 商店街
第7章 自分の将来と地域貢献	学習した内容をまとめ、自分の将来を考える。	

<概念図>



## ② ”飛び出せ！専門高校生”地域実践サポート事業(平成21年度)

専門高校が実習や課題研究等の学習の中で、創造力、実行力、問題解決能力を伸ばす取組を進めている。そうした成果を生かし、地域社会における実践をとおして、専門高校についての地域住民の理解を深める。また、地域と学校との連携を密にすることにより、開かれた学校づく

農業系	<b>勝間田高等学校</b> 森林資源を活用した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吉井川下流域で「森林の機能や効用」について学習している小学生を演習林に招き、自然とふれ合う環境学習の機会を提供</li> <li>○しいたけを植菌，活着後小学校に配付し，栽培学習で活用 等</li> </ul>
工業系	<b>津山工業高等学校</b> ものづくり出前授業の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校，地域イベント会場で，ものづくり体験教室を実施</li> <li>○学校施設を開放し，ものづくり体験授業を実施 等</li> </ul>
商業系	<b>倉敷商業高等学校</b> 朝市のイベント企画の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月実施される地域朝市の広告作成・情報発信・集客アップのための地域連携，学校連携によるイベントを企画</li> <li>○オリジナル商品の開発，販売 等</li> </ul>
連携型 (農業・家庭)	<b>興陽高等学校</b> アンテナショップの設置定着の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業科が栽培した有機野菜を販売</li> <li>○栽培した野菜を利用して作った宅配弁当や宅配お菓子のレシピ，ユニバーサルデザインの服等を製作し展示 等</li> </ul>
連携型 (農・工・商)	<b>高梁城南高等学校</b> 観光活性化，地域交流の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市観光協会，商工会議所等との連携による観光活性化プロジェクトを実施</li> <li>○学習活動を活かした幼稚園との食農交流を実施</li> <li>○国道沿いの緑化帯の花壇整備 等</li> </ul>

## (4) 資格取得状況(平成20年度)

### ○農業関係高校(公立 9校)

資格種目	人数
技能検定(園芸装飾) 2級	1
技能検定(園芸装飾) 3級	39
技能検定(フラワー装飾) 3級	5
技能検定(造園) 2級	5
技能検定(造園) 3級	8
トレース技能検定 2級	41
危険物取扱者(乙種)	40

### ○工業関係高校(公立 13校)

資格種目	人数
電気主任技術者(3種)	1
消防設備士(甲種)	5
電気工事士(1種)	28
測量士補	4
技能検定(普通旋盤) 2級	2
技能検定(普通旋盤) 3級	23
技能検定(機械系保全) 3級	2
技能検定(電気系保全) 2級	1
技能検定(電気系保全) 3級	2
システムアドミニストレータ(初級)	2
溶接技能者評価試験(専門級)	5
溶接技能者評価試験(基本級)	37
計算技術検定 1級	6
電気工事施工管理技術者 2級	9
土木施工管理技術検定 2級	14
情報技術検定 1級	9
基本情報技術者	3
公害防止管理者(水質)	1

### ○商業関係高校(公立 13校)

資格種目	人数
ソフトウェア開発技術者	1
基本情報技術者	4
システムアドミニストレータ(初級)	32
日商簿記 1級	2
日商簿記 2級	187
販売士検定 2級	1
販売士検定 3級	29
実用英語技能検定 2級	16
実用英語技能検定準 2級	88
秘書検定 2級	48
全経簿記能力検定上級	1
FP技能士(ファイナンシャルプランナー)	3

### ○家庭科関係高校(公立 9校)

資格種目	人数
被服製作(和服) 1級 被服製作(洋服) 1級 食物調理 1級	全取得 65

### ○看護関係高校(公立 3校)

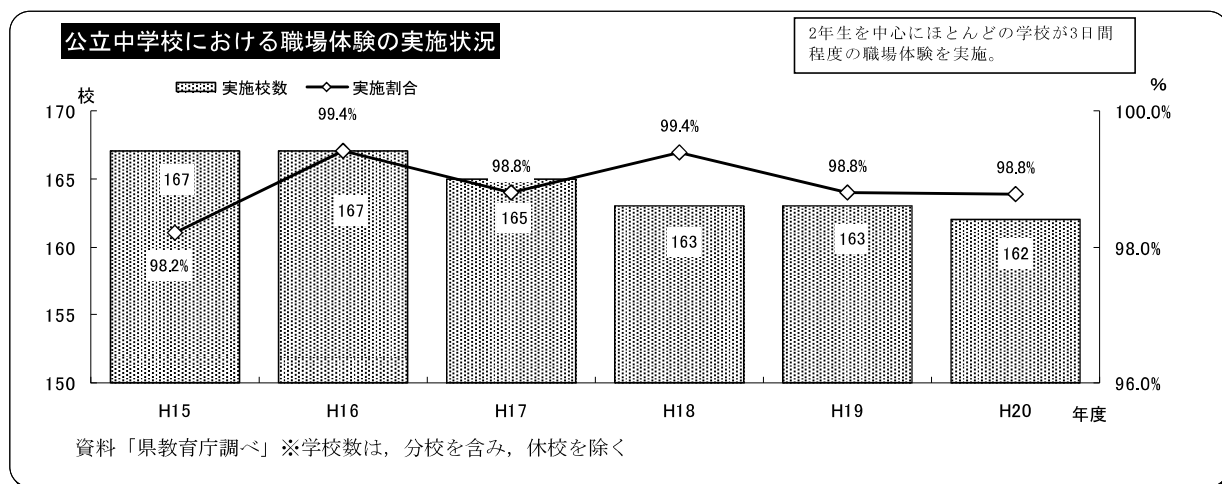
資格種目	人数
看護師国家試験	103
合格率	97.2%
※全国合格率(全体)	89.9%

### ○福祉関係高校(公立 4校)

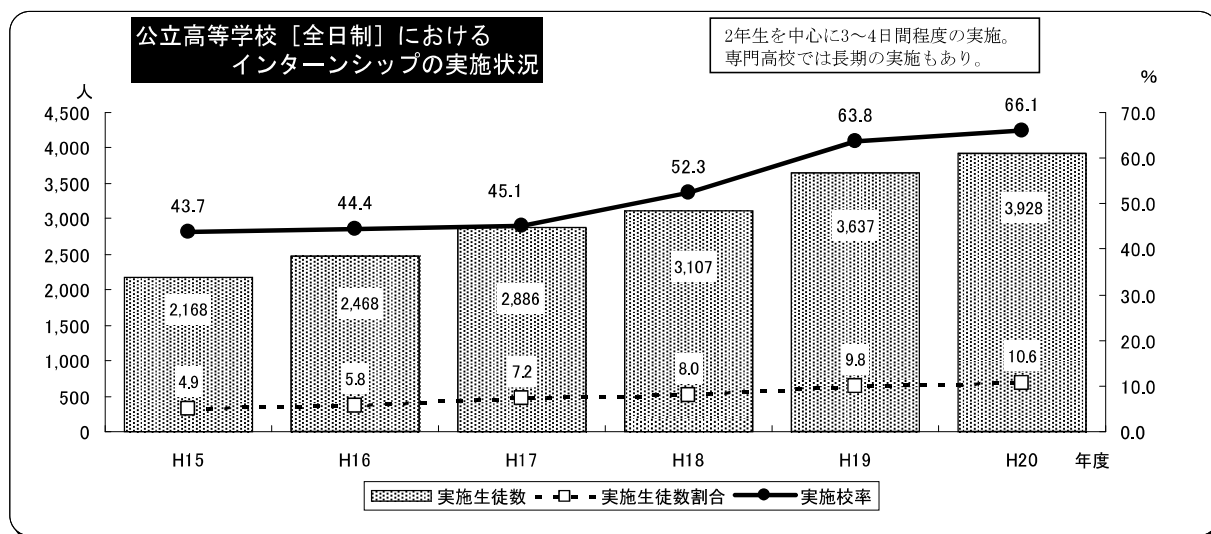
資格種目	人数
介護福祉士国家試験	55
合格率	82.1%
※全国合格率(高校生)	56.3%

## (4) 職場体験・インターンシップ等実施状況

岡山県教育庁指導課



	H15	H16	H17	H18	H19	H20
学 校 数	170校	168校	167校	164校	165校	164校
実 施 校 数	167校	167校	165校	163校	163校	162校
実 施 割 合	98.2%	99.4%	98.8%	99.4%	98.8%	98.8%



	H15	H16	H17	H18	H19	H20
学 校 数	71校	72校	71校	65校	58校	56校
実 施 校 数	31校	32校	32校	34校	37校	37校
実 施 校 率	43.7%	44.4%	45.1%	52.3%	63.8%	66.1%
実 施 生 徒 数	2,168人	2,468人	2,886人	3,107人	3,637人	3,928人
実 施 生 徒 数 割 合	4.9%	5.8%	7.2%	8.0%	9.8%	10.6%
受 入 企 業 数	641社	720社	898社	1,003社	1,046社	1,107社

### 3 県内の高等学校卒業者の就職状況

#### (1) 「平成22年3月新規学校卒業者の就職内定状況」

平成21年10月末日現在

岡山労働局(単位:人、%)

項 目	平成21年度			平成20年度			対前年増減比			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
中 学	卒業予定者数	18,145	9,384	8,761	18,512	9,518	8,994	-2.0	-1.4	-2.6
	就職希望者数	39	22	17	66	35	31	-40.9	-37.1	-45.2
	就職内定者数	0	0	0	0	0	0			
	就職内定率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高 校	卒業予定者数	17,457	8,958	8,499	18,155	9,050	9,105	-3.8	-1.0	-6.7
	就職希望者数	3,509	2,166	1,343	4,060	2,501	1,559	-13.6	-13.4	-13.9
	就職内定者数	2,227	1,530	697	3,191	2,138	1,053	-30.2	-28.4	-33.8
	就職内定率	63.5	70.6	51.9	78.6	85.5	67.5	-15.1	-14.9	-15.6

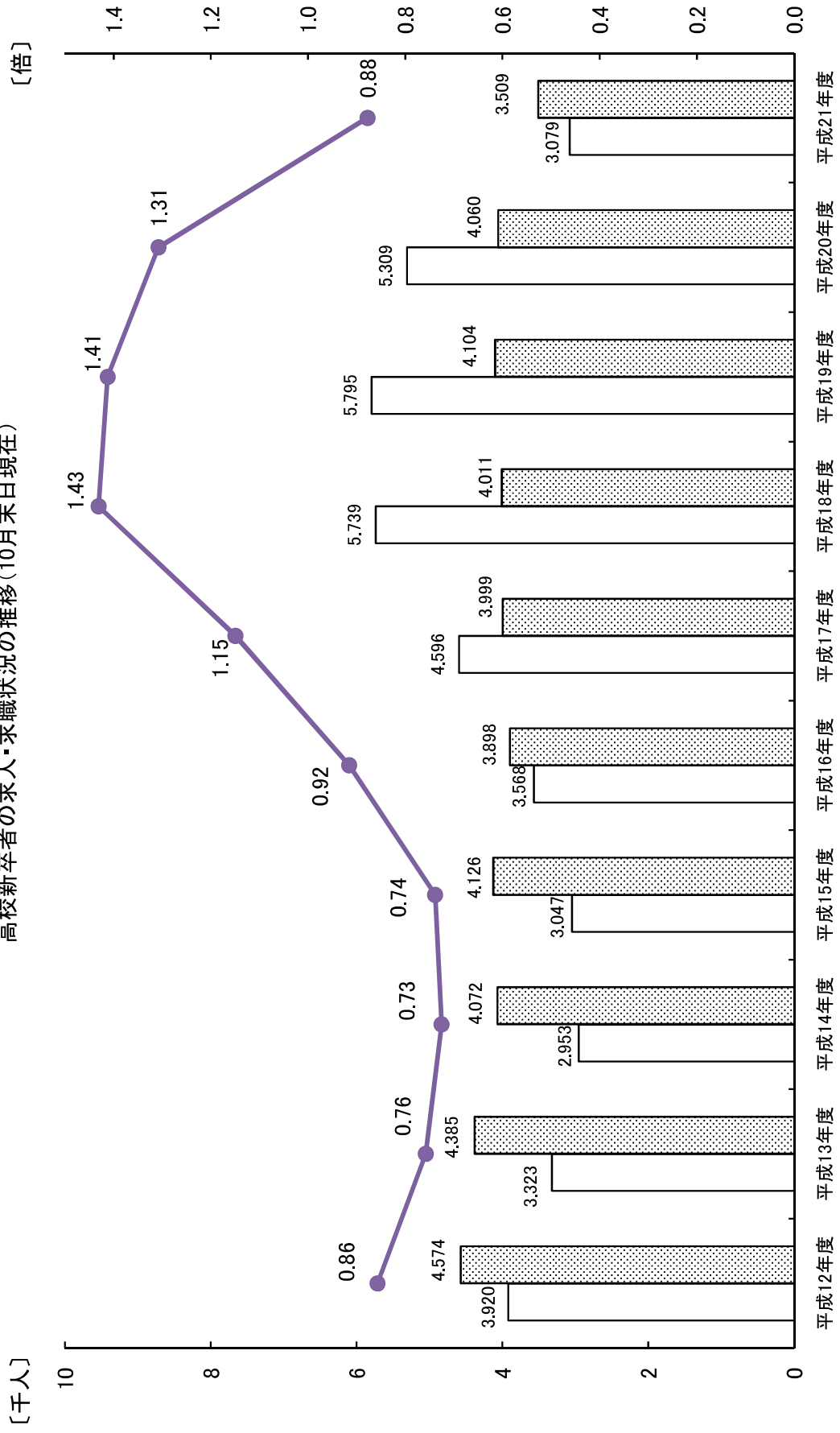
専 修	卒業予定者数	2,558	1,083	1,475	2,872	1,242	1,630	-10.9	-12.8	-9.5
	就職希望者数	2,215	913	1,302	2,524	1,073	1,451	-12.2	-14.9	-10.3
	就職内定者数	777	335	442	1,070	522	548	-27.4	-35.8	-19.3
	就職内定率	35.1	36.7	33.9	42.4	48.6	37.8	-7.3	-11.9	-3.9
高 専	卒業予定者数	182	169	13	165	154	11	10.3	9.7	18.2
	就職希望者数	103	97	6	101	91	10	2.0	6.6	-40.0
	就職内定者数	93	88	5	98	90	8	-5.1	-2.2	-37.5
	就職内定率	90.3	90.7	83.3	97.0	98.9	80.0	-6.7	-8.2	3.3
短 大	卒業予定者数	1,944	228	1,716	2,052	174	1,878	-5.3	31.0	-8.6
	就職希望者数	1,276	126	1,150	1,443	106	1,337	-11.6	18.9	-14.0
	就職内定者数	472	33	439	498	17	481	-5.2	94.1	-8.7
	就職内定率	37.0	26.2	38.2	34.5	16.0	36.0	2.5	10.2	2.2
大 学	卒業予定者数	8,230	4,237	3,993	8,588	4,468	4,120	-4.2	-5.2	-3.1
	就職希望者数	4,836	2,258	2,578	5,398	2,509	2,889	-10.4	-10.0	-10.8
	就職内定者数	2,113	1,020	1,093	2,965	1,574	1,391	-28.7	-35.2	-21.4
	就職内定率	43.7	45.2	42.4	54.9	62.7	48.1	-11.2	-17.5	-5.7
大 学 等 計	卒業予定者数	12,914	5,717	7,197	13,677	6,038	7,639	-5.6	-5.3	-5.8
	就職希望者数	8,430	3,394	5,036	9,466	3,779	5,687	-10.9	-10.2	-11.4
	就職内定者数	3,455	1,476	1,979	4,631	2,203	2,428	-25.4	-33.0	-18.5
	就職内定率	41.0	43.5	39.3	48.9	58.3	42.7	-7.9	-14.8	-3.4

注) 1 就職希望者・就職内定者のうち、大学等については公務員・自営業は含まない。

2 中学・高校については縁故・公務員・自営業への就職者は含まない。(学校・安定所扱いの数のみ)



高校新卒者の求人・求職状況の推移(10月末日現在)



□ 県内求人数    ▨ 求職希望者    ● 求人倍率

## (参考資料)

## 平成22年3月卒 求人受理状況

平成21年9月30日現在

\*産業別については、日本標準産業分類改定のため正確な比較ができない。

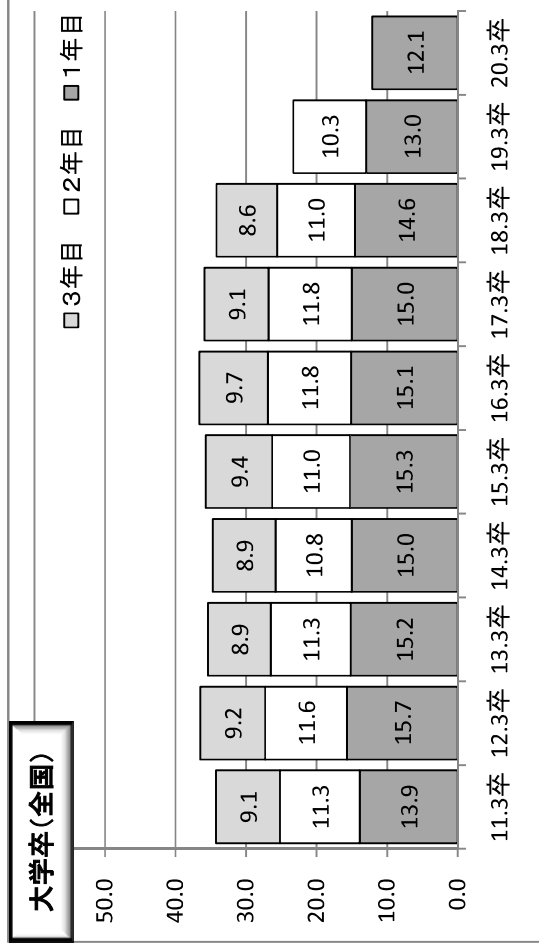
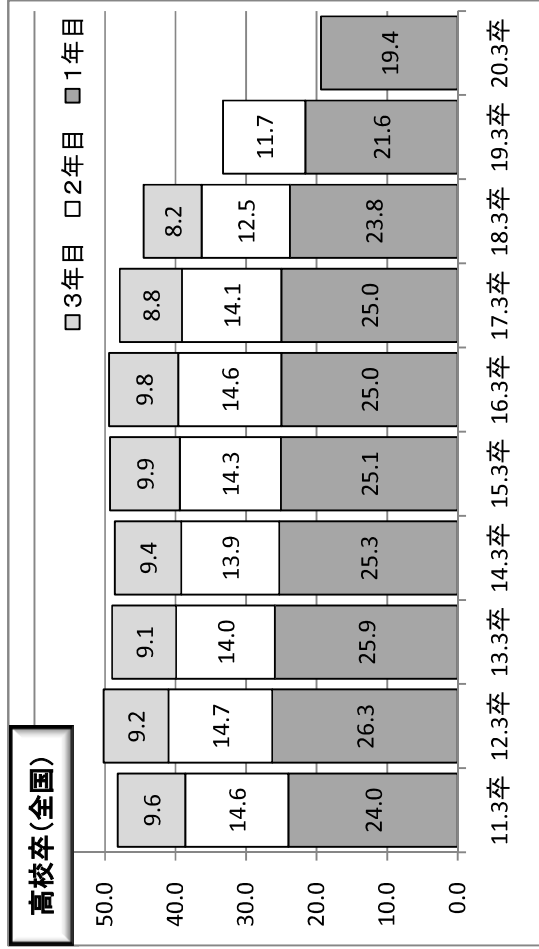
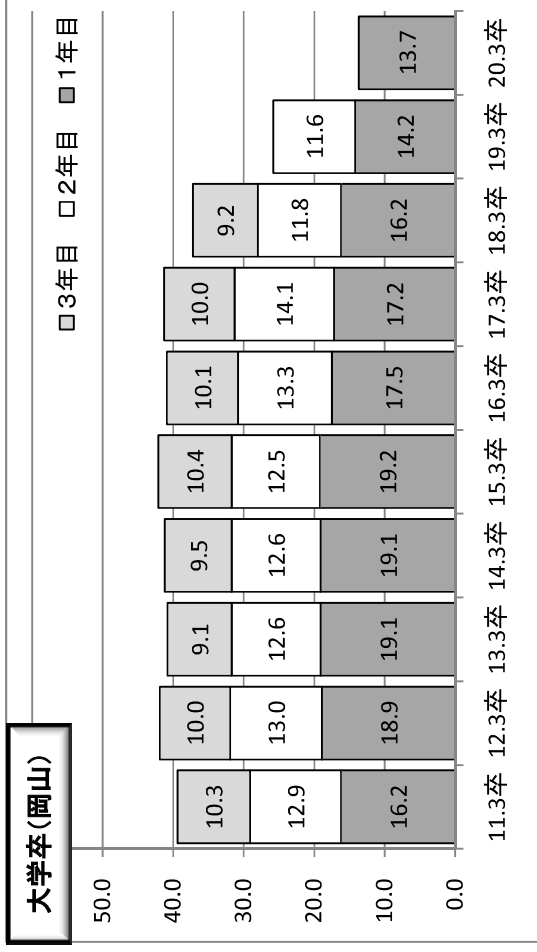
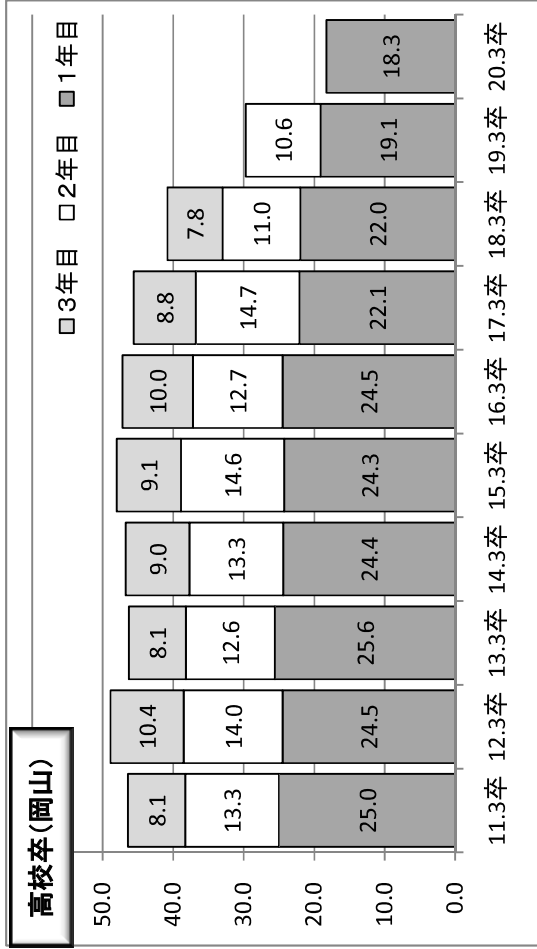
		高 卒 対 象		
		平成21年度	平成20年度	対前年比
産 業	A, B 農, 林, 漁業 (01~04)	10		
	C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 (05)	4		
	D 建設業 (06~08)	258	397	-35.0%
	E 製造業 (09~32)	1,221	2,603	-53.1%
	09 食料品製造業	138		
	10 飲料・たばこ・飼料製造業	9		
	11 繊維工業	98		
	12 木材・木製品製造業 (家具除く)	13		
	13 家具・装備品製造業	5		
	14 パルプ・紙・紙加工品製造業	35		
	15 印刷・同関連業	30		
	16 化学工業	57		
	17 石油製品・石炭製品製造業	35		
	18 プラスチック製品製造業 (別掲を除く)	33		
	19 ゴム製品製造業	22		
	21 窯業・土石製品製造業	22		
	22 鉄鋼業	142		
	23 非鉄金属製造業	13		
	24 金属製品製造業	51		
	25 はん用機械器具製造業	89		
	26 生産用機械器具製造業	69		
	27 業務用機械器具製造業	19		
	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	43		
	29 電気機械器具製造業	26		
	30 情報通信機械器具製造業	20		
	31 輸送用機械器具製造業	227		
	20, 32 その他の製造業	25		
	F 電気・ガス・熱供給・水道業 (33~36)	1		
	G 情報通信業 (37~41)	7		
	H 運輸業, 郵便業 (42~49)	94		
I 卸売業, 小売業 (50~61)	291			
50~55 卸売業	44			
56~61 小売業	247			
J 金融業, 保険業 (62~67)	11			
K 不動産業, 物品賃貸業 (68~70)	8			
L 学術研究, 専門・技術サービス業 (71~74)	27			
M 宿泊業, 飲食サービス業 (75~77)	119			
76 飲食店	67			
N 生活関連サービス業, 娯楽業 (78~80)	235			
O 教育, 学習支援業 (81, 82)	12			
P 医療, 福祉 (83~85)	524	554	-5.4%	
Q 複合サービス事業 (86, 87)	18			
R サービス業 (他に分類されないもの) (88~96)	67			
91 職業紹介・労働者派遣業	2			
92 その他の事業サービス業	44			
S, T 公務 (他に分類されるものを除く)・その他 (97)	5			
職 業 別	A, B, C 専門・技術・管理・事務	844	1,151	-26.7%
	D 販売	238	423	-43.7%
	E サービス	326	396	-17.7%
	I 技能工等	1,446	3,073	-52.9%
	(51~72) 製造・製作の作業	1,214	2,567	-52.7%
	(73, 74) 定置機関・建設機械運転・電気作業	76	167	-54.5%
	(75~80) 採掘・建設・労務の職業	156	339	-54.0%
	上記以外の職業	58	123	-52.8%
	0人~ 29人	510	816	-37.5%
	30人~ 99人	726	1,225	-40.7%
規 模 別	100人~299人	761	1,242	-38.7%
	300人~499人	218	622	-65.0%
	500人~999人	214	454	-52.9%
	1000人~	483	807	-40.1%
合 計		2,912	5,166	-43.6%

## (参考資料)

	【参考】 前年度 (20年9月末日現在)	中 学	高等学 校	大 学 等				計	
				高等専門校	短期大学	大 学	専 修		
業 別	A, B, C 農、林、漁業 (01~04)	0	17	0	0	2	2	4	
	D 鉱業 (05)	0	3	0	0	0	0	0	
	E 建設業 (06~08)	10	397	11	16	48	17	92	
	F 製造業 (09~32)	7	2,603	59	112	474	79	724	
	09 食料品製造業	0	215	2	4	23	2	31	
	10 飲料・たばこ・飼料製造業	0	12	0	0	0	0	0	
	11 繊維工業	4	33	0	5	6	5	16	
	12 衣服・その他の繊維製品製造業	1	103	0	26	30	17	73	
	13 木材・木製品製造業	0	30	1	5	8	3	17	
	14 家具・装備品製造業	0	25	0	0	1	0	1	
	15 パルプ・紙・紙加工品製造業	0	41	0	0	3	0	3	
	16 印刷・同関連業	0	47	1	3	26	5	35	
	17 化学工業	0	126	0	2	15	2	19	
	18 石油製品・石炭製品製造業	0	41	0	0	0	0	0	
	19 プラスチック製品製造業	2	89	1	0	6	0	7	
	20 ゴム製品製造業	0	45	0	0	1	0	1	
	22 窯業・土石製品製造業	0	59	0	0	2	0	2	
	23 鉄鋼業	0	270	0	5	12	2	19	
	24 非鉄金属製造業	0	28	1	0	13	1	15	
	25 金属製品製造業	0	108	3	3	10	2	18	
	26 一般機械器具製造業	0	357	24	20	93	8	145	
	27 電気機械器具製造業	0	69	2	0	29	0	31	
	28 情報通信機械器具製造業	0	26	0	0	6	0	6	
	29 電子部品・デバイス製造業	0	172	3	1	80	9	93	
	30 輸送用機械器具製造業	0	658	20	33	97	23	173	
	31 精密機械器具製造業	0	15	1	5	8	0	14	
	21, 32 その他の製造業	0	34	0	0	5	0	5	
	G 電気・ガス・熱供給・水道業 (33~36)	0	6	0	0	0	0	0	
	H 情報通信業 (37~41)	0	36	21	42	122	42	227	
	I 運輸業 (42~48)	0	368	4	7	64	2	77	
	J 卸売・小売業 (49~60)	0	496	25	121	290	65	501	
	49~54 卸売業	0	93	6	27	68	15	116	
	55~60 小売業	0	403	19	94	222	50	385	
	K 金融・保険業 (61~67)	0	16	0	6	24	0	30	
	L 不動産業 (68, 69)	0	2	0	1	6	0	7	
	M 飲食店・宿泊業 (70~72)	0	208	8	24	46	18	96	
	(70, 71 飲食店) ※内数	0	127	6	14	33	15	68	
	N 医療・福祉 (73~75)	0	554	8	142	222	114	486	
	O 教育・学習支援業 (76, 77)	0	10	0	17	17	16	50	
	P 複合サービス事業 (78, 79)	0	31	6	11	26	2	45	
	Q サービス業(他に分類されないもの) (80~94)	0	414	20	100	184	127	431	
	R, S 公務・その他 (95, 96, 99)	0	5	0	0	0	0	0	
	職 業 別	A, B, C 専門・技術・管理・事務	0	1,151	81	308	832	238	1,459
		D 販売	0	423	36	161	445	82	724
		E サービス	0	396	4	39	54	100	197
		I 技能工等	17	3,073	37	88	186	62	373
		(51~72) 製造・製作の作業	13	2,567	30	76	155	52	313
(73, 74) 定置期間・建設機械運転・電気作業		0	167	3	6	9	4	22	
(75~80) 探掘・建設・労務の職業		4	339	4	6	22	6	38	
上記以外の職業		0	123	4	3	8	2	17	
0人~ 29人		12	816	18	63	154	89	324	
30人~ 99人		5	1,225	49	136	317	119	621	
100人~299人	0	1,242	23	191	420	118	752		
300人~499人	0	622	27	104	218	69	418		
500人~999人	0	454	26	51	209	47	333		
1,000人以上	0	807	19	54	207	42	322		
合 計	17	5,166	162	599	1,525	484	2,770		

\* 産業別については、旧日本標準産業分類に基づく区分による。

## (2) 新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移



岡山：岡山労働局  
全国：厚生労働省